

令和8年2月10日発行

議会をPick-Up!	2P
議案の審議結果	3P
一般質問	4-8P
政務活動費による活動	9P



12月定例会 (第4回)

● 議会をPick-Up!

令和7年第4回定例会
会期 12月5日～16日 (12日間)
審議の結果は、3ページに掲載

12月の定例会は、市長提出議案34件、議会提出議案3件を審議しました。

Pick-Up 01

一般会計補正予算 (第8号)

(主な事業および内容)

● 公共交通キャッシュレ

ス決済導入支援事業

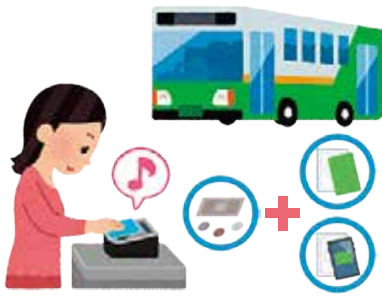
地域にとって不可欠な公共交通の利便性の向上と利用者の増加を図るため、沿線自治体との協調補助により、民間路線バスのキャッシュレス決済の導入に係る費用の一部を支援します。

● 公共交通利用アップ等推進事業

高齢者を対象にした、公共交通の利用促進を図るための運賃補助について、当初の見込みを上回ったことから、不足分を追加します。

● 高齢者・障がい者安心サービス事業

高齢者及び障がい者に対して買い物・掃除等の生活支援サービスを提供する認証団体への補助金について、新たに1団体の活動開始に加え、既存団体の活発な地域福祉活動により補助金申請額が増加傾向にあることから、不足分の事業費を増額します。



● みどり計画実践加速化支援事業

化学肥料から有機質資材等へ転換するなど、販売農家が特別栽培農産物等の生産拡大に要する必要な経費について、拡大面積に応じて支援を行います。

みんなで環境に優しい農業をやってみよう!



● ふるさと十日町の木で家づくり事業

市産材を使用して市内に住宅を建築する建築主に対する市産材購入費の補助について、当初の見込みを上回ったことから、不足分を増額します。



十日町市産木材を住宅建築に活用しています

● 土地改良区電気料高騰対策支援事業

電気料金高騰の影響を受けている土地改良区に対し、令和3年度に比べて高騰した農業用水利施設に係る電気料の10%を支援します。

● 市道除排雪経費

今冬の安全・安心な道路交通を確保するため、除排雪作業や凍結防止剤等の保有などに万全を期すなどの必要な経費を増額します。



● 十日町地域河川局部改修事業

斜面からの土砂崩れの影響で護岸が浸食され、被害を受けている北沢川において、来春の融雪期における出水および隣接水田の耕作開始に間に合うよう、護岸の復旧工事を実施します。

● 学校給食用食材料費高騰対策事業

保護者負担の軽減のため、米価高騰分と物価上昇による各種賄材料費増額分を公費負担します。



とおかまちメニュー (からむし給食)

Pick-Up 02

条例の見直し

(主な事業および内容)

● 十日町市里創プラン松

之山ステージ越後松之

山「森の学校」キヨロ

口条例の一部改正

里山科学館としてのミュージアム活動の充実を図るため、これまでの法的根拠のない「博物館類似施設」と位置付けていたものを、博物館法に基づく博物館として登録を行うために改正します。

Pick-Up 03

人事議案

任期満了に伴う人事議案が提出され、同意しました。

【人権擁護委員】

石 黒 良 泉 氏
竹 村 千 津 子 氏
大 谷 宗 禅 氏

Pick-Up 04

意見書の提出

議員が提出した次の意見書を可決しました。

内閣総理大臣をはじめ国の関係機関や国会に提出し、その実現を図るよう要望します。

● 新潟水俣病全被害者の

救済と問題解決に向け

た取組を求める意見書

● 30人以下学級実現、教

職員定数の改善・働き

方改革に係る意見書



12月定例会 議決結果

議案番号等	件 名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	106 専決処分の承認について（令和7年度十日町市一般会計補正予算（第7号））	—	全員賛成	承認
	107 人権擁護委員候補者の推薦について（石黒 良泉【いしぐろ りょうせん】氏）	—	全員賛成	同意
	108 人権擁護委員候補者の推薦について（竹村 千津子【たけむら ちづこ】氏）	—	全員賛成	同意
	109 人権擁護委員候補者の推薦について（大谷 宗祥【おおたに そうぜん】氏）	—	全員賛成	同意
	110 損害賠償の額を定めることについて	—	全員賛成	原案可決
	111 新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	—	全員賛成	原案可決
	112 第三次十日町市総合計画基本構想の策定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	113 十日町市税条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	114 十日町市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	115 十日町市里創プラン松之山ステージ越後松之山「森の学校」キョロロ条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	116 指定管理者の指定について（十日町市総合体育館ほか8施設）	総務文教	全員賛成	原案可決
	117 指定管理者の指定について（十日町市当間多目的グラウンドクラブハウス及び十日町市当間多目的グラウンド）	総務文教	全員賛成	原案可決
	118 十日町市農山漁村地域就業促進施設条例を廃止する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	119 指定管理者の指定について（まつだい雪国農耕文化村センター、アート作品及びその敷地ほか2施設）	産業建設	全員賛成	原案可決
	120 指定管理者の指定について（十日町市斎場）	産業建設	全員賛成	原案可決
	121 十日町市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	厚生	全員賛成	原案可決
	122 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	厚生	全員賛成	原案可決
	123 指定管理者の指定について（羽根川荘）	厚生	全員賛成	原案可決
	124 指定管理者の指定について（平成園）	厚生	全員賛成	原案可決
	125 指定管理者の指定について（十日町市中条児童遊園地）	厚生	全員賛成	原案可決
	126 令和7年度十日町市一般会計補正予算（第8号）について	—	全員賛成	原案可決
	127 令和7年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	—	全員賛成	原案可決
	128 十日町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	—	賛成多数	原案可決
	129 十日町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	—	賛成多数	原案可決
	130 十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	—	全員賛成	原案可決
	131 令和7年度十日町市一般会計補正予算（第9号）について	—	全員賛成	原案可決
	132 令和7年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	—	全員賛成	原案可決
	133 令和7年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）について	—	全員賛成	原案可決
	134 令和7年度十日町市訪問看護事業特別会計補正予算（第2号）について	—	全員賛成	原案可決
	135 令和7年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	—	全員賛成	原案可決
	136 令和7年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	—	全員賛成	原案可決
	137 令和7年度十日町市水道事業会計補正予算（第3号）について	—	全員賛成	原案可決
	138 令和7年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第3号）について	—	全員賛成	原案可決
	139 令和7年度十日町市下水道事業会計補正予算（第2号）について	—	全員賛成	原案可決
請願	1 「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革」に係る意見書の採択を求める請願	総務文教	全員賛成	採 択
議会提出議案	19 新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組を求める意見書	—	全員賛成	原案可決
	20 「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革」に係る意見書	—	賛成多数	原案可決
	21 議員派遣について	—	全員賛成	原案可決

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※村山達也議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	か が や き						希 望				日 本 共 産 党 十日町市議団			しんせいかい 新成会				無 会 派	
				富井高志	山家悠平	水落静子	鈴木一郎	市川直子	滝沢青葉	根津年夫	中林寛暁	遠田延雄	大嶋由紀子	滝沢繁	富井春美	樋口富行	星名大輔	野沢浩平	福崎哲也	俵山裕	小林正夫	村山達也
128	原案可決	15	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※	
129	原案可決	15	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※	
議20	原案可決	17	1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	

ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、8人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。

質問議員	質問事項	ページ
星名大輔	クマ対策について	4
市川直子	市内の小中学校に学校司書を置くことについて	5
滝沢繁	県立松代病院について・雪問題を考える	5
山家悠平	笹山縄文広場整備事業について	6

質問議員	質問事項	ページ
大嶋由紀子	不登校児童の学びを保障するためのネット出席制度!!	6
樋口富行	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働について	7
野沢浩平	学校体育館の空調設備整備を求める	7
富井春美	周産期医療と県立十日町病院の充実・学区再編について	8



クマ対策について

星名大輔 議員



質問 市内の住宅地付近でクマの出没が増えていきます。①市長にクマ対策の現状と今後について、②教育長には学校における対策について伺います。

答弁 ①当市の熊の出没件数は、12月7日時点で161件と、昨年度の104件を上回っています。市の熊対策として、猟友会十日町支部に委託した十日町市鳥獣被害対策実施部隊が中心となり、熊出没時の現地確認や捕獲、箱罠の設置、パトロールを行っていきます。また、市報やあんしんメールでの注意喚起や狩猟免許取得費の支援、狩猟免許講習会を開催し、担い手確保にも努めています。今年9月から緊急銃猟制度が始まり、関係機関と連携して対応マニュアルを整備するとともに、体制を構築、来春に対応訓練を計画しています。さらに、国の熊被害対策パッケージや、県のアーバンベア捕獲緊急支援事業を活用した捕獲機材の確保や、猟友会の出動報酬の増額、捕獲報酬の新設、熊を引き寄せないための収穫予定のない柿の木などの処理に対する支援を検討します。②県教育委員会通知に基づき、市内学校向けに熊対応マニュアルを作成し、これに沿って、各校では熊の生態や熊と遭遇した



6名、湯沢町1名で、小千谷市と津南

書の配置状況は長岡市10名、南魚沼市

活動の推進に努めています。②学校司

書の機能を補完・維持しながら、読書

の読み聞かせの継続を通して、学校司

書の配置状況は長岡市10名、南魚沼市

6名、湯沢町1名で、小千谷市と津南

質問 ①学校司書の必要性について

②近隣市町村での学校司書の配置状況

③文部科学省の第6次「学校図書館図

書整備等5か年計画」（令和4～8年

度）では学校司書の配置に対して単年

度で243億の予算が措置されていま

す（4次では150億、5次では220

億と次毎に拡充）。また適切な予算措

置を要請する文言もあり、学校現場か

らは学校司書の配置や図書ボランティア

の組織づくりのサポート依頼もある

ことから、学校司書のモデル配置につ

いての考えを伺います。



市内の小中学校に学校司書を置くことについて

市川直子 議員



町は未配置、魚沼市は司書補助として

6名、柏崎市では学校読書支援員とし

て5名を配置し、いずれも会計年度任

用職員となっています。③現在、各学

校では特別な支援を要する児童生徒へ

の対応や、小学校下学年への学習支援

教職員の事務負担軽減に向けた人員確

保、ICT学習環境への対応など、支

援ニーズが多様化、複雑化しています。

これらの要請に対して、市では教育支

援員や学習支援員、ICT支援員など

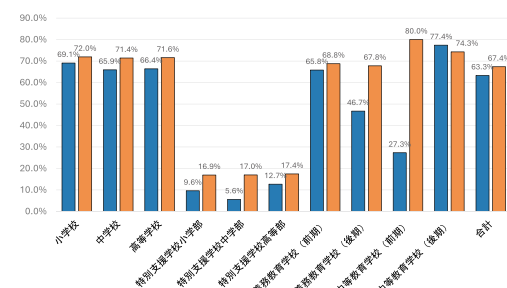
を配置しています。学校司書の配置に

ついても現場の声に耳を傾けながら、

引き続き研究・検討を進めます。

令和6年6月20日発表 令和6年9月10日修正
文部科学省総合教育政策局地域学習部指導課
「令和5年度公立学校における学校司書の配置状況に関する調査」結果（概要）
（令和5年5月1日現在）

(1) 各学校種における学校司書の配置の有無



【参考】令和2年度 令和5年度
注：上記は学校司書を配置している学校の割合。
【参考】令和2年度のデータは、令和2年度「学校図書館の現状に関する調査」結果より。

令和5年度公立学校における学校司書の配置状況に関する調査

質問 県立病院経営強化プランに示さ

れている松代病院を継続して貰いたい

と地元住民の7割の署名と1万631

0筆の署名を県に提出、圏域を超えた

上越市からも、市内全域、県職労、自

治労からも署名が集まったことに市長

の受け止めはいいかが伺います。

答弁 松代病院の今まで果たしてきた

大きな役割を、改めて今回の署名活動

を通じて、確認されたものと受け止め

ています。こういった署名活動は、市

町村合併以降、県による病院再編の動

きに対し、地域では約20年にわたり存

続を求める取り組みが続けられてきた



県立松代病院



県立松代病院について・雪問題を考える

滝沢 繁 議員



質問 松代、松之山の住民は入院機能

のある病院を残してほしいと願ってい

ます。市長はどのようにお考えか。

答弁 松代病院が地域住民の命を守る

重要な役割を果たしているとの認識は

変わりません。一方で無床診療所化と

する県の方針は決定され、魚沼圏域地

域医療構想調整会議でも合意されまし

た。市では県の責任により当地域の診

療体制を確実に維持してほしいと考え

ており、このことは11月11日に知事に

直接お渡しした要望書に込めた最も強

い思いです。現在は、県議会の最終的

な判断を注視しているところです。

歴史があります。松代病院に対する地

域の期待が、今回の署名活動によって

表明された非常に重要な機会であつた

と理解しています。

質問 融雪屋根に対する支援強化を望

みますがいかがお伺います。

答弁 令和3年度に新たに多雪区域を

設け、助成額を5千円増額する改正を

行いました。また近年は、生活が困難

な方に対する物価高騰対策として給付

金の支給なども行っています。今年度

も国の重点支援地方交付金を活用した

燃料費支援を検討しています。



笹山縄文広場整備事業について

山家 悠平 議員



質問 人口減少下の厳しい財政環境で、総事業費約17億円の大規模整備を進める意義と、市長の思いを問う。

答弁 新潟県で唯一の国宝出土地である笹山遺跡を、地域の宝として守り後世に継承していくとともに、文化観光資源として有効に活用し、清津峠をはじめとする市内の文化観光拠点と笹山遺跡、博物館を結び、観光客の回遊性を飛躍的に高めて、地域経済の活性化につながる新たな人の流れを創出していくことができるという思いに至ったものです。

質問 合計で約17億円の事業費を見込むが、市民負担を抑える財源確保や、運営コスト・収支の見通しは。

答弁 具体的な事業費は今後の実施設計の中で算定されますが、想定される財源としては、一般財源のほか、国の補助金や交付金、有利な起債やガバメントクラウドファンディングの活用などが考えられます。また、運営体制と収支計画等については、基本計画に示す管理・運営計画に基づき、効率的で持続可能な方法を検討してまいります。

質問 市民の声をどのように把握し、設計や運営計画に反映させるのか。

答弁 基本設計の中で、地域の団体や



笹山縄文広場

NPO法人、ボランティア組織などとの意見交換を実施するとともに、市民の意見を丁寧に向いながら、内容の充実を図ってまいります所存です。

質問 社会情勢が変化した場合、計画の規模縮小や見直しを行う柔軟性はあるか。

答弁 全体範囲を大きくI区からIV区に分け、段階的に整備を進めていく計画で、エリアごとの機能等を必要に応じて検討していくとともに、運営方法についても、持続可能な方法を順次検討し、全体として柔軟に取り組んでまいります。



不登校児童の学びを保障するためのネット出席制度!!

大嶋 由紀子 議員



質問 ①全国的に不登校の児童生徒数は過去最高となり、文部科学省は令和5年以降、ICTを活用した学習活動を実施している学校があるか。

②不登校支援、学びの保障としての効果をどのように考えらておられるのか見解を伺います。

答弁 ①市では、不登校児童生徒への支援として、令和3年6月からオンラインによる授業等を受講した場合、指導要録上、出席扱いとすることとしており、今年度の支援状況としては、小学校3校で5人、中学校2校で3人となっています。この運用は、年度当初に開催する校長会において、全学校に周知しています。また、各学校では、不登校児童生徒の状況を踏まえ、学びの場の選択肢のひとつとして、児童生徒と保護者にオンライン授業への参加を提案するなど、個別対応を行っています。引き続き、ネット出席が必要な児童生徒とその保護者への適切な支援につながるよう、各学校への周知と対応の徹底を図ります。

②効果としては、不登校による学習の



不登校児童のネット出席制度があります!

遅れをオンライン学習により補填できるメリットがあります。また、出席が確保され、進路選択の可能性が広がる利点も考えられます。一方で、ICTを活用した学習活動の継続により、長期的な不登校を助長する可能性が懸念されています。また、オンラインでは、対面授業と同水準の学習効果を得ることが難しく、対話を通じたコミュニケーション能力や協調性を育む機会が減少してしまう課題もあります。これらを総合的に踏まえながら、個々の児童生徒の状況に合わせた適切な支援に努めます。



柏崎刈羽原子力発電所の再稼働について

樋口 富行 議員



質問 冬に原発事故が起きた場合、偏西風に乗って発生した雪雲と共に放射性物質が降り、長期にわたり人々の生活に甚大な影響が及ぶ可能性があります。①知事との意見交換で原発再稼働について、市長の思いと市民の思いをどの様に伝えたのかお聞かせください。

②住民投票を考えた事があるか、今後実施する考えがあるか、お伺いします。

答弁 ①県民意識調査や十日町市総合計画の市民アンケートの結果、市内経済団体との意見交換会などを踏まえ、当市の考えをお伝えしました。「再稼働に厳しい見方をしている市民が多いため、原発施設の安全性、緊急時の防災対策がしっかりと市民に理解され、さらに再稼働のメリットも実感できる環境になることが必要」という意見を伝えた上で、知事から適切に判断していただきたいと申し上げました。②住民投票を考えたことはありません。市民の民意の捉え方にはいくつか選択肢があった中で、県から「県民意識調査を行う。しかもUPZの調査数を増やす」ことが示されたため、当市分を分析することでも民意を判断できると考えました。当市の考えをまとめた文章も直接知事にお渡ししており、民意を伝える

仕事は完了したと思っています。今後、住民投票を実施する考えはありません。

質問 温浴施設の福祉的観点から利用料金の値下げ、高齢者等への優遇策は出来ないのか、お伺いします。

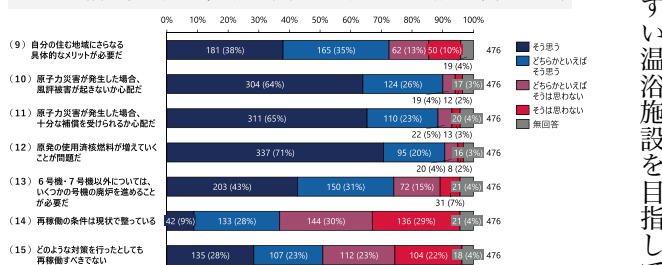
答弁 明石の湯、千年の湯、雲海では70歳以上の高齢者を対象とした割引サービス、ミオンなかと、ゆくら妻有、鷹の湯では、通常の利用料金よりお得な会員券や年間券のサービスを実施しています。引き続き、市と指定管理者がお互いの役割を果たしながら、利用しやすい温浴施設を目指してまいります。

単純集計結果（十日町市）

市町村ごとの問5-1の回答構成

< 設問 >

問5-1 以下には柏崎刈羽原子力発電所6号機・7号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身の考えをお選びください。なお、あなたに該当しないことでも、その立場に立ってお答えください。（それぞれ7つずつ）



出典：新潟県「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の意識調査」（2025年9月）



学校体育館の空調設備整備を求める

野沢 浩平 議員



質問 学校体育館は、災害時に地域の避難所として重要な役割を担います。近年激甚化・頻発化する自然災害において避難所となる学校体育館に空調設備が整備されていないことが一因で、避難生活の疲労やストレスで亡くなる災害関連死が増えています。学校施設の避難所強化に向け、空調設備新設や断熱工事の費用を支援する文部科学省の「空調設備整備臨時特例交付金」を活用し、体育館の空調設備設置を計画する考えはありますか。

答弁 避難所としての学校体育館等への空調設備の設置は、避難者の健康対策として重要であると認識しています。市の指定避難所49か所のうち48か所は、事務室や普通教室などに空調設備を設置していますが、平成30年度以前に閉校した旧倉俣小学校は未設置となっています。

現時点では、指定避難所となっている小中高校の体育館には空調設備は設置していません。

ご質問の文部科学省の「空調設備整備臨時特例交付金」は、「避難所に指定されている学校であること」と「断熱性が確保されること」の2つが要件となっております。市では現在、この

交付金を活用して川治小学校の体育館をモデルに、空調設備設置の実施設計を行っています。

なお、UPZ圏内（原子力発電所から概ね半径30km圏内）の指定避難所となっている学校体育館への空調設備設置については、この交付金に加え、同圏内を対象に国が今後創設を予定している「屋内退避施設環境整備支援制度」を積極的に活用しながら、整備を進めてまいります。

さらに、川治小学校での断熱改修との組み合わせの効果を検証し、光熱費の負担軽減に努めてまいります。



体育館の避難状況



周産期医療と県立十日町病院 の充実・学区再編について

富井 春美 議員



質問 民間医療機関の分娩が3月末で終了することについて①民間医療機関への支援と県へ行った働きかけ等の内容、②分娩機能がなくなった時の重大性についての市長の考え、③分娩機能が途絶えた場合の妊婦さんへの支援の在り方、以上を伺います。

答弁 ①令和4年度から今年度まで助産師への就業支度金や、医師・助産師等の人件費及び医療機器の購入費の支援などを行ってきました。また、県へは十日町病院の分娩再開を強く求めており、11月11日に知事にお渡しした要望書にも含まれています。早期の分娩再開に向けて、引き続き新潟大学や県と協議を重ねていきます。②安心して出産・子育てができる環境の整備に向けて、分娩体制の維持・存続に最大限の支援を行ってきましたが、民間医療機関の今年度末での分娩業務終了の公表があり、市としても今回の公表を大変重く受け止めています。③妊婦の方に安心して出産できるよう、市単独事業による支援策を提案する予定です。

質問 十日町病院への精神科の入院機能や透析はどのような予定でしょうか。

答弁 十日町病院の機能強化として、分娩再開と併せて知事へ要望しました。



県立十日町病院の分娩再開を!!
入院もできる精神科と透析機能開設の今後は!!

現在、具体的な構想は示されていませんが、人工透析は県病院局長が県議会で、十日町病院への移行に向け厚生連と基本的合意をしたと答弁しており、十日町病院が受け皿になると考えます。

質問 「みんなの学校」プロジェクトが設定されましたが、協議ブロックはどこで相談されるのでしょうか。

答弁 同プロジェクトは教育委員会が「魅力ある市立中学校づくりの方針」策定に向けて保護者や地域の皆様から意見を聞くための会です。協議ブロック設定は検討過程の一つの選択肢であり、大勢の意見を受けて変更しました。

所管事務調査(管外視察)を行いました

視察報告書は
コチラ↓



総務文教常任委員会

■期 日

令和7年10月29日～31日

■視察先

- ①茨城県つくばみらい市
- ②愛知県蒲郡市
- ③神奈川県横須賀市

■視察項目

- ①新設中学校の開校準備について
- ②竹島水族館について
(文教施設におけるコンセッション導入事例を学ぶ)
- ③生成AIに関する取組について

産業建設常任委員会

■期 日

令和7年11月4日～6日

■視察先

- ①大分県別府市
- ②福岡県みやま市

■視察項目

- ①温泉とアートを核としたまちづくりによる新たな観光客の獲得と移住促進の取組について
- ②エネルギーの地産地消による地域の活性化について

厚生常任委員会

■期 日

令和7年10月20日～22日

■視察先

- ①兵庫県小野市
- ②奈良県三郷町

■視察項目

- ①脳科学理論に基づいた子育て及び就学前教育について(経緯、概要、成果等)
- ②奈良おもちゃ美術館について



みらい平市民センターにて



みやま市議場にて



奈良おもちゃ美術館にて



新 成 会

で、地域内外の交流促進や生活基盤の確立といった地域課題、また、年々増加するイノシシ被害に伴う捕獲後の焼却処分問題を抱えていましたが、これらの課題を地域資源として有効活用していく取り組みが進められていました。

10月15日から17日の3日間で、宮城県大崎市と岩手県陸前高田市を視察しました。

大崎市では、小学校の廃校利活用について、2か所に伺いました。1か所目の日本語学校は、全国2例目となる公設公営施設で、外国人の受け入れを通じて少子高齢化による人手不足の解消と定住促進を目指すもので、地域活性化と多文化共生の実現に向けた取り組みが行われていました。

次に、東北初の野生イノシシ肉の処理加工施設に伺いました。閉校後の跡地利活用を検討する中



日本共産党十日町市議団

「福祉の村」と言われている長野県の泰阜村へ視察に行きました。「福祉の村」と言われる理由は、①高齢者福祉の中心に『在宅福祉』を据えていること、②村を支え、守り続けてきた高齢者に「この村に生まれ、ここで最期まで暮らせて幸せだった」と感じながら、安心して最期を迎えられることは、行政の責任であるという理念に基づき、約30年前から福祉に力を入れて取り組んできていることからでした。

特徴的な取り組みとして、介護保険料の自己負担の6割を公費負担、介

護保険限度額の超過分を全額公費負担、70歳以上の医療費は一回500円（月4回まで）などです。行政が高齢者福祉に力を入れることは、若者が高齢者になった際にも大切にされる社会につながると思います。

泰阜村の移住定住策についても伺いました。移住は、「地域の仲間探し」という考え方のもと、山村都市交流事業を実施し、子育て世代を中心につながりづくりをするイベントを開催し、現在、30代前後のUターンが増えているとのことでした。



介護予防拠点施設



だ い ち

12月22日に国会議員会館を訪問し、県内選出の衆議院議員および参議院議員7名に対し国民祝日法の改正に関する要望書を提出しました（要望書を成人の日としていましたが、現在1月の第2月曜日に変更されたため、各地で行われていた小正月行事などが分散され、祭りの廃止または簡略化が進み、地域の活力が衰退、伝統や文化が継承されず、失われつつあります。このようなことから、成人の日を元に戻し以前の活力を取り戻せるよう要望しました。

同日、環境省が主催する「良好な環境創出シンポジウム2025」で「多様な主体の共創による地域の魅力度向上を目指して」の講演を拝聴しました。全国的に広まっている熊の被害対策や耕作放棄地の活用・里山整備の取り組みなど、今後の地域活動に活かします。

翌日には、荒川区役所を表敬訪問して、都市と田舎の交流について意見交換を行いました。昨年1月に荒川区を訪問し、翌月に十日町市に来訪いただいたお礼と今後の交流を要望しました。

「祝日法」改正に関する要望書

拝啓、貴会並びに地方自治の向上に向けて、市民の御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、1999年制定の「国民の祝日に関する法律」の改正を機に、「成人の日」が1月15日から1月の第2月曜日に移動されました。これにより、長年にわたって継承されてきた伝統文化である「小正月」行事の縮小や廃止が懸念されています。

地域によっては、小正月は正月より前も盛んに行われ、1月15日に地域を挙げての行事や伝統行事（四穀実参集行）が行われていました。祝日に定まっていた行事や祭りがなくなってしまうこと、熊害や観光客などの集客にもつながっているところです。

このようなことから、旧暦のとおりに「成人の日」を再度1月15日に改めたいと希望します。地域住民が「こぞで参加しやすい」振替を賜り、地方の活力の向上に寄与すべく、市民の御協力を賜りたくお願い申し上げます。

令和7年12月22日

提 出 者 十日町市議会議員 小林正夫

■グループウェアの導入

令和7年7月から市議会専用のグループウェアを試験導入し、その後、本格運用を開始しました。これまでメールや紙文書が中心だった連絡、情報共有、スケジュール管理等を、グループウェアを活用することで迅速化・効率化を図ります。

■タブレット端末と会議システムの導入

令和7年10月に、タブレット端末を導入し、令和7年11月19日にタブレット端末、同月28日に会議システムの操作説明会を

実施しました。議員同士が互いに教え合うなど、基本的な操作方法を確認しました。



議会改革の取り組みとして 議会のICT化を進めています

■定例会においてペーパーレス議会の試行を開始

第4回定例会から、ペーパーレスを目的とした議会運営の試行を開始しました。議会関連資料の電子化により、環境負荷の低減と議会機能の充実・強化を図ります。当面は紙との併用を行います。来年度以降のペーパーレス議会本格運用を目指し、委員会での導入も視野に議論を進め、積極的にタブレット端末を活用していく予定です。



今号の表紙は

松代高校写真部

の作品です。



松代高校写真部です。部員は少ないですが、明るく元気に、楽しく部活に取り組んでいます。

📺 議会の中継・放送について

((●)) インターネットで

本会議の中継を配信しています。生中継のほか録画中継もご覧いただけます。ホームページからアクセスしてください。

十日町市議会

検索



📺 ケーブルテレビ

上越ケーブルビジョンで生中継しています。再放送は、会議開催日当日の午後7時からご覧いただけます。

📻 FMラジオ

FMとおかまちで本会議での一般質問を、会議開催日当日の午後7時から放送しています。

あとがき

昨年は2月の集中豪雪と夏の渇水により、難儀をした一年でした。12月21日現在、二度の降雪はあったものの根雪には至らず、雪国としては、ほどほどの雪を願っているところです。今号では12月定例会での審議内容を中心に、常任委員会や会派の活動もお伝えしています。議会で交わされる議論の背景には、市民の皆さま一人ひとりの日常があります。気になるテーマや「自分ごと」と思える話題を見つけ、市政に少し推しの気持ちを持っていただけたら、より身近に感じていただけるのではないのでしょうか。これからも分かりやすい情報発信に努めてまいります。

市川直子

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119

FAX 025-757-5999